2026年10月9日更新

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

Ⅰ．事業の概要	
1. 対象国名	ウガンダ共和国
2. 案件名	ウガンダ国西部チェゲグワ県の脆弱な状況下の難民・ホストコミュニティの女性に対する縫製品品質管理・マーケティング技術向上を活用した自立生計支援事業
3. 事業の背景と必要性	ウガンダ西部のチャカⅡ難民居住地区では、難民流入の継続と人道支援の縮小により、特に女性の経済的・社会的脆弱性が高まっている。縫製は有望な生計手段である一方、品質管理やマーケティング、ビジネス運営に関する知識不足により安定した収入創出につながっていない。本事業は、女性の経済的自立とGBV（ジェンダーに基づく暴力）予防を同時に推進し、難民とホストコミュニティの共生と自立を促進する。
4. プロジェクト目標	難民およびホストコミュニティ女性が縫製品製造・販売能力を高め、安定した収入源を獲得できるようになると共に、GBV対応能力が強化される。
5. 対象地域	ウガンダ西部チェゲグワ県チャカⅡ難民居住地区
6. 受益者層（ターゲットグループ）	直接受益者：210人（難民およびホストコミュニティの女性40人、GBV研修受講生の男性家族およびコミュニティリーダー50 人、難民およびホストコミュニティ女性が属する世帯員120人） 間接受益者：合計25,400人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	〈アウトプット〉 1. 対象の難民およびホストコミュニティ女性が家族の理解と協力を得ながら、縫製技術・マーケティングにかかる知識および能力を高め、収入を得られるようになる。 2. UWDB（Union for Women Development Bukere）が研修実践に必要な知識を得て、企画立案や実施能力を高める。 〈活動〉 1-1：受講生、その家族およびコミュニティリーダーへのGBV研修の実施 1-2：ウガンダ国内で製品を製造しウガンダおよび日本で販売を展開する企業の技術と知見を活かした品質管理・マーケティング・ビジネス管理能力向上研修の実施 1-3：受講生による製作品の日本での展示やウガンダでの販売を通したマーケティング知識の実践研修 1-4：受講生のビジネス実践状況のモニタリングとフィードバック・セッションの実施 2-1：UWDBに対する研修運営のための実務指導 2-2：レビュー会議の隔月実施と研修立案に関するワークショップの実施 2-3：UWDBが立案した研修を実施 2-4：モニタリング
8. 実施期間	2026年6月～2028年6月（2年0ヵ月）
9. 事業費概算額	99,736千円
10. 相手国側実施機関（カウンターパート）	Union for Women Development Bukere（UWDB）、Office of the Prime Minister（OPM）
Ⅱ．団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
2. 主な活動内容	国内外において人道支援、難民支援、災害復興支援、地域開発支援等を実施。ウガンダでは国際機関や現地団体と連携し、難民・ホストコミュニティを対象とした保護支援、生計向上支援、女性のエンパワメント事業等に取り組んでいる。